

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Musicco step		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日	～	R8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	R8年 1月 19日	～	R8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2階に個別スペースがあり、子どもが落ち着きにくい時に利用できるのがいいと思う。	・クールダウンや一人で集中するための使用を目的として設置しているので、人数は制限するように工夫している。 ・利用したいと自分で言える子どもの場合、本当に必要なか見極めを行っている。(単なる遊びや逃げに使わないようにしたい) ・自分で言い出せない(イライラしすぎてクールダウンの方法すらも思いつかない)子どもの場合は、こちらから声をかけて個別スペースの使用を提案している。	・クールダウンスペースが2階にあると知らない子どもいるので、必要そうな時に個別で知らせたり、ルールとして一律で知らせるのも良さそう。利用している子は今は固定化されている。 ・一度使ってみないと分からないと思う。使った方がいいのにな、と思う子どもも含め、実際に見せるのも良いのでは？写真を貼っておくとか。保護者にも知らせる意味で、SNSやオープンチャットで出すのも良いのでは。施設内探検として一回子どもを上らせて紹介するのもいいかも。
2	学校や相談機関との共有が密にできている。	・送迎時に積極的にコミュニケーションを図っている。支援会議以外の非公式な場面でも子どもの様子を伝え合うように意識している。共有ファイルを学期ごとに作成して紙面で読んでもらっている。 ・児発管が積極的に支援会議に参加している。 ・相談支援員とも、何かあった時は必要なことを共有するようにしている。	・送迎時、状況や相手(先生の反応や忙しさ)によっては十分に共有ができないこともある。 ・長期休暇中などに学校から事業所に見学に来て下さる先生もいるが、ごく一部。見に来てもらうことも可能、など共有ファイルに書き添えておくのも良いのでは。
3	職員それぞれが活躍できている。職員一人一人の意識が高い。(別の事業所や関係小学校からのコメント)	・一人一人の職員がスキルを身につけていけるよう、今のその職員に合った(その職員に身につけてほしい)研修を組んでいる。受講して終わりではなく、実際の支援に活かしたり他の職員にも共有したりできるよう、研修受講報告書の作成と回覧を実施している。	・動画受講にて研修を行うことが多いが、事業所内で所内研修を行う等、より個人の意識が高まるような研修方法を考えたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースの狭さ、子どもの人数が多い時は危険なこともあると思う。	・建物の構造上、広さを変えることは不可能。 ・放デイは利用人数が多く、また子どもの体が大きく、遊びも激しく大きくなりがち。座っての遊びばかりになるとストレスが溜まってしまつたので、ある程度動きが大きくても遊びを止めるのは難しい。	・自由遊びの時間は、静の活動・動の活動でスペースを区切って危険がなるべく少ないように工夫している。 ・体を動かす遊びの際は、スペースだけでなく、何人かずつにグループを分けて取り組むとか、部屋全体を使うように促すなど工夫している。 ・机や椅子を使わない時は、倉庫の中に入れておいて少しでもスペースを広げる。 ・子どもが増えてきた時間帯(15:30頃～)、行きたい人は公園や園庭に人数を分散させる。
2	送迎時に対面で保護者に会うことができるが、時間や職員の人数的関係でゆとりがなく、ゆっくりやりとりができない。	・利用人数が多い時は室内に残った子ども達に先生の手が取られてしまう。 ・駐車場が少なく、お迎え時に車が集中してしまうことが多い。近隣の方の迷惑にもなるので、なるべく早く帰さないのと気持ち焦ってしまう。	・室内の片付けや記録の作成を優先して、子どもが残っている時間帯にも一部の先生が職員室に上がることがある。その分1階が手薄になって保護者と話づらいので、なるべく1階に先生が残れるようにする。 ・その場で話せない時は帰宅後電話やチャットでも連絡可能な事を伝える。 ・保護者からは忙しそうに見えても、意外と忙しくない時もあるのでは、こちらから声掛けをすることを意識する。
3	仕事の分担という面で、限られた職員(例えば児発管)しかできない業務があり、業務負担に差があるのではないか。	・スタッフの数に余裕がなく、業務を分担することが不可能。 ・児発管が一人しかいない。基礎研修を終了した者がいるが、原案の作成などには携われていない。	・請求業務など事務的な事は他のスタッフに委託することができている。パート職員に頼っている部分があるので、正規職員で担当できれば尚良いのではないかと。 ・パート職員が増え、いずれは正規雇用を目指しているのでは、さらに業務の分担が可能になると思う。